



平成 19 年 11 月 14 日 実施

神奈川県高等学校教科研究会数学部会編

数 学 学 力 テ ス ト

(時間 50 分)

(無断転載を禁じます)

第 学年	組 番	氏 名
------	-----	-----

注 意 事 項

1. 解答はすべて解答用紙に記入して下さい。
2. 次のⅠ型、Ⅱ型、Ⅲ型の3つの型の中から、学校で指定されたものを選んで解答して下さい。各型とも◎印は必修問題で、○印は選択問題です。
3. Ⅰ型は2つの○印から1題、Ⅱ型は4つの○印から2題、Ⅲ型は7つの○印から3題、学校で指示された方法で選択して解答して下さい。
4. 各型とも100点満点です。

※◎は必修問題、○は選択問題

問題	出題分野	Ⅰ型	Ⅱ型	Ⅲ型	解答形式	配点
【1】	数 学 I	◎	◎	◎	客観	14
【2a】	数 学 I	◎	○		客観	21
【2b】	数 学 I			○	客観	14
【3】	数 学 I	◎	◎		客観・記述	15
【4】	数 学 I	◎			客観・記述	15
【5】	数 学 I	○			客観	35
【6a】	数 学 A	○			客観	35
【6b】	数 学 A		○		客観	21
【6c】	数 学 A			○	客観	14
【7】	数 学 II		◎	◎	客観	7
【8】	数 学 II		◎		客観	7
【9】	数 学 II		◎	◎	記述	15
【10a】	数 学 II		○		客観	21
【10b】	数 学 II			○	客観	14
【11a】	数 学 B		○		客観	21
【11b】	数 学 B			○	客観	14
【12】	数 学 III			◎	客観	7
【13】	数 学 III			◎	記述	15
【14】	数 学 III			○	客観	14
【15】	数 学 C			○	客観	14
【16】	数学Ⅲ・数学C			○	客観	14

※ 解答形式が記述式のものについては、途中経過を記入すること。

S III 学 力 テ ス ト

数学 I

I 型 必修

II 型 必修

III 型 必修

【1】 次の各問いに答えよ。

(1) $x = -1 + \sqrt{5}$ のとき、 $x^2 + 2x - 6$ の値を求めよ。

(2) 放物線 $y = x^2 + ax + b$ を x 軸方向に 3, y 軸方向に 5 だけ平行移動すると、放物線 $y = x^2 + x$ に重なるという。このとき、定数 a, b の値を求めよ。

数学 I

I 型 必修

II 型 選択

III 型

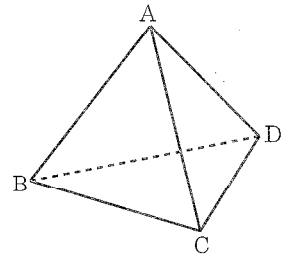
II 型の選択は、次より 2 題選択
【2a】 【6b】 【10a】 【11a】

【2a】 次の各問いに答えよ。

(1) 不等式 $\frac{2-x}{3} < \frac{x+1}{2}$ を解け。

(2) 放物線 $y = x^2 - ax + a$ が、 x 軸と共有点をもたないように定数 a の値の範囲を定めよ。

(3) 1 辺が 2 である正四面体 ABCD の体積を求めよ。



数学 I

I 型

II 型

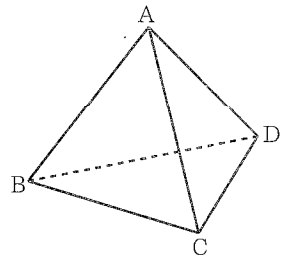
III 型 選択

III 型の選択は、次より 3 題選択
【2b】 【6c】 【10b】 【11b】 【14】 【15】 【16】

【2b】 次の各問いに答えよ。

(1) 放物線 $y = x^2 - ax + a$ が、 x 軸と共有点をもたないように定数 a の値の範囲を定めよ。

(2) 1 辺が 2 である正四面体 ABCD の体積を求めよ。



数学 I

I 型 必修

II 型 必修

III 型

【3】 $\triangle ABC$ において、 $AB = 2\sqrt{2}$ 、 $BC = 2$ 、 $\angle C = 135^\circ$ とする。

このとき、次の各問いに答えよ。

- (i) $\triangle ABC$ に外接する円の半径を求めよ。
- (ii) AC の長さを求めよ。(途中経過を書け)

数学 I

I 型 必修

II 型

III 型

【4】 2点 $A(-1, 1)$ 、 $B(-4, 4)$ について、次の条件を満たす放物線をグラフとする 2次関数を求めよ。

- (i) 点 A を頂点とし、点 B を通る。
- (ii) 2点 A, B を通り、 x 軸に接する。(途中経過を書け)

数学 I

I 型 選択

II 型

III 型

I 型の選択は、次より 1 題選択
【5】 【6 a】

【5】 次の各問いに答えよ。

- (1) $x^2 - 4y^2 + 4y - 1$ を因数分解せよ。
- (2) 不等式 $x^2 + 5x - 4 \geq 0$ を解け。
- (3) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、等式 $\sqrt{3} \tan \theta + 3 = 0$ を満たす θ の値を求めよ。
- (4) 不等式 $|x - 1| \leq 2$ を解け。
- (5) 関数 $y = x^2 - 3x + 5$ の $-1 \leq x \leq 2$ における最大値を求めよ。また、そのときの x の値を求めよ。

数学 A

I 型 選択

II 型

III 型

I 型の選択は、次より 1 題選択
【5】 【6 a】

【6 a】 次の各問いに答えよ。

- (1) 数直線上の集合 A, B を、 $A = \{x | x^2 - x - 6 < 0\}$ 、 $B = \{x | x^2 - 5x > 0\}$ とする。
 $A \cap \bar{B}$ を求めよ。ただし、 \bar{B} は B の補集合を表すものとする。
- (2) KANAGAWA の 8 個の文字すべてを一列に並べたときに、G と W が隣り合う場合は何通りあるか求めよ。
- (3) $(x^2 - 2x)^6$ を展開したとき、 x^7 の項の係数を求めよ。
- (4) $\boxed{1}$ 、 $\boxed{1}$ 、 $\boxed{1}$ 、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ の 6 枚のカードの中から同時に 2 枚のカードを取り出すとき、数字が異なる確率を求めよ。
- (5) 袋の中に 1, 2, 3, 4 の数字が書かれた 4 個のボールがある。袋からボールを 1 個取り出し、数字を記録して袋に戻す。これを 2 回繰り返す。最初に取り出したボールの数字を a 、2 回目に取り出したボールの数字を b とする。 a と b がともに奇数の場合は和 $a + b$ を得点とし、それ以外の場合は積 ab を得点とする。このとき、得点の期待値を求めよ。

数学 A

I 型

II 型 選択

III 型

II 型の選択は、次より 2 題選択
【2 a】 【6 b】 【10 a】 【11 a】

【6 b】 次の各問いに答えよ。

- (1) $(x^2 - 2x)^6$ を展開したとき、 x^7 の項の係数を求めよ。
- (2) $\boxed{1}$ 、 $\boxed{1}$ 、 $\boxed{1}$ 、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ の 6 枚のカードの中から同時に 2 枚のカードを取り出すとき、数字が異なる確率を求めよ。
- (3) 袋の中に 1, 2, 3, 4 の数字が書かれた 4 個のボールがある。袋からボールを 1 個取り出し、数字を記録して袋に戻す。これを 2 回繰り返す。最初に取り出したボールの数字を a 、2 回目に取り出したボールの数字を b とする。 a と b がともに奇数の場合は和 $a + b$ を得点とし、それ以外の場合は積 ab を得点とする。このとき、得点の期待値を求めよ。

数学 A

I 型

II 型

III 型 選択

III 型の選択は、次より 3 題選択
【2 b】 【6 c】 【10 b】 【11 b】 【14】 【15】 【16】

【6 c】 次の各問いに答えよ。

- (1) $\boxed{1}$ 、 $\boxed{1}$ 、 $\boxed{1}$ 、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ の 6 枚のカードの中から同時に 2 枚のカードを取り出すとき、数字が異なる確率を求めよ。
- (2) 袋の中に 1, 2, 3, 4 の数字が書かれた 4 個のボールがある。袋からボールを 1 個取り出し、数字を記録して袋に戻す。これを 2 回繰り返す。最初に取り出したボールの数字を a 、2 回目に取り出したボールの数字を b とする。 a と b がともに奇数の場合は和 $a + b$ を得点とし、それ以外の場合は積 ab を得点とする。このとき、得点の期待値を求めよ。

【7】 同じ大きさで、様々な色の正方形のタイルが全部で 900 枚ある。これを長方形になるように隙間なく敷き詰めて、1 枚の絵を描く。その際、外周部分は黒で統一したい。黒いタイルは最低何枚以上必要か、以下の空欄を埋めよ。

- ① 出来上がった絵の、縦に使う枚数を α 枚、横に使う枚数を β 枚、外周部分に必要な枚数を n 枚とすると、

$$n = \boxed{\text{ア}}(\alpha + \beta) - 4$$

- ② また、 $\alpha\beta = \boxed{\text{イ}}$

- ③ ここで、 α と β を解にもつような

$$2 \text{ 次方程式 } (x - \alpha)(x - \beta) = 0$$

を考える。この式は展開して

$$x^2 - (\alpha + \beta)x + \alpha\beta = 0$$

と書けるので、①、②を用いて

α と β を消去すると、

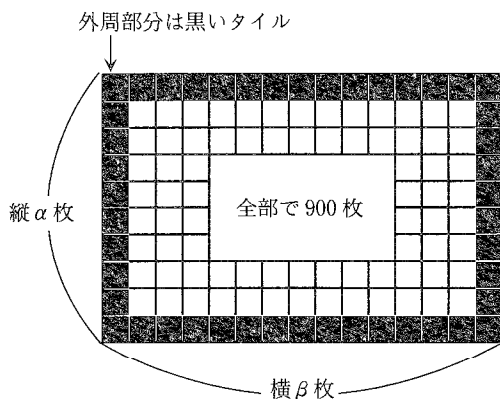
$$x^2 - \boxed{\text{ウ}}x + \boxed{\text{エ}} = 0$$

よって、 $\frac{n+4}{2} = x + \frac{900}{x}$ ($x \neq 0$) —— (A) となる。

- ④ (A)の右辺に、相加平均と相乗平均の関係を用いると、

$$\frac{n+4}{2} = x + \frac{900}{x} \geq \boxed{\text{オ}} \quad (\text{等号成立は } x = \boxed{\text{カ}} \text{ のとき})$$

- ⑤ 以上より、外周部分に必要な枚数 n の最小数は $\boxed{\text{キ}}$ となり、これより少ない場合、絵の外周を黒で統一することはできない。



【8】 不等式 $\log_2(x-2) + \log_2(x-5) < 2$ を解け。

【9】 曲線 $C: y = -x^2 + 4x$ について、次の各問いに答えよ。(途中経過を書け)

- (i) 点 $(0, 1)$ から曲線 C に引いた接線のうち、接点が第 1 象限にあるものの方程式を求めよ。
- (ii) (i) で求めた接線と y 軸および曲線 C とで囲まれた部分の面積 S を求めよ。

数学Ⅱ

I型

II型 選択

III型

II型の選択は、次より2題選択
【2a】 【6b】 【10a】 【11a】**【10a】** 次の各問いに答えよ。

- (1) $\frac{(1+2i)(a+i)}{3-2i}$ が実数となるように、実数 a の値を定めよ。ただし、 i は虚数単位とする。
- (2) 円 $x^2+y^2=4$ と直線 $y=x+1$ の2つの交点を結ぶ線分の長さを求めよ。
- (3) $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、関数 $y = -2 \sin \theta - \cos 2\theta$ の最小値を求めよ。また、そのときの θ の値を求めよ。

数学Ⅱ

I型

II型

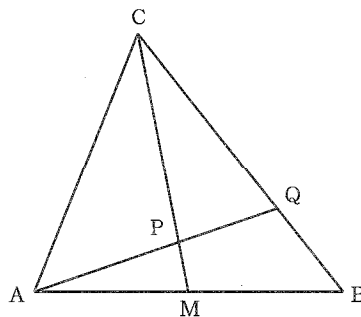
III型 選択

III型の選択は、次より3題選択
【2b】 【6c】 【10b】 【11b】 【14】 【15】 【16】**【10b】** 次の各問いに答えよ。

- (1) 円 $x^2+y^2=4$ と直線 $y=x+1$ の2つの交点を結ぶ線分の長さを求めよ。
- (2) $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、関数 $y = -2 \sin \theta - \cos 2\theta$ の最小値を求めよ。また、そのときの θ の値を求めよ。

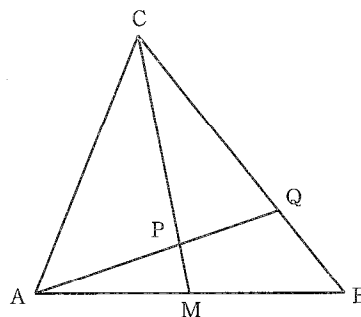
【11 a】 次の各問いに答えよ。

- (1) 空間において、3 点 $A(3, 2, 1)$, $B(5, -2, -5)$, $C(6, 3, -1)$ を頂点とする $\triangle ABC$ の $\angle C$ の大きさを求めよ。
- (2) $a_1 = 1$, $a_{n+1} = 4a_n + 3$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) で定義される数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。
- (3) $\triangle ABC$ において、辺 AB の中点を M , 線分 CM を $4:1$ に内分する点を P とする。頂点 A と P を通る直線が辺 BC と交わる点を Q としたとき、 \overrightarrow{AQ} を \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{AC} で表せ。



【11 b】 次の各問いに答えよ。

- (1) $a_1 = 1$, $a_{n+1} = 4a_n + 3$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) で定義される数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。
- (2) $\triangle ABC$ において、辺 AB の中点を M , 線分 CM を $4:1$ に内分する点を P とする。頂点 A と P を通る直線が辺 BC と交わる点を Q としたとき、 \overrightarrow{AQ} を \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{AC} で表せ。



数学Ⅲ

I 型

II 型

III 型 必修

【12】 $x = \cos^3 t$, $y = \sin^3 t$ とする。 $\frac{dy}{dx}$ を求めよ。

数学Ⅲ

I 型

II 型

III 型 必修

【13】 曲線 $D: y = \frac{x^2}{e^x}$ について、次の各問いに答えよ。

ただし、 $\lim_{x \rightarrow +\infty} \frac{x^2}{e^x} = 0$, $\lim_{x \rightarrow -\infty} \frac{x^2}{e^x} = +\infty$ である。(途中経過を書け)

- (i) 増減表を用いて曲線 D の極値を求めよ。ただし、凹凸を調べる必要はない。
- (ii) k を定数とする。曲線 D と直線 $y = k$ が異なる 3 個の共有点をもつように k の値の範囲を定めよ。

数学Ⅲ

I 型

II 型

III 型 選択

III 型の選択は、次より 3 題選択
【2b】【6c】【10b】【11b】【14】【15】【16】

【14】 次の各問いに答えよ。

- (1) 極限 $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{x \tan x}{1 - \cos x}$ を求めよ。
- (2) 定積分 $\int_1^{e^2} x^2 \log x dx$ を求めよ。

数学 C

I 型

II 型

III 型 選択

III 型の選択は、次より 3 題選択
【2b】【6c】【10b】【11b】【14】【15】【16】

【15】 次の各問いに答えよ。

- (1) 行列 $A = \begin{pmatrix} 1 & -2 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$ に対して、行列 $X = \begin{pmatrix} a & 3 \\ b & 4 \end{pmatrix}$ が条件 $AX = XA$ を満たすように定数 a, b の値を求めよ。
- (2) 放物線 $y^2 - 6y - 4x + 9 = 0$ の焦点の座標と準線の方程式を求めよ。

数学Ⅲ・C

I 型

II 型

III 型 選択

III 型の選択は、次より 3 題選択
【2b】【6c】【10b】【11b】【14】【15】【16】

【16】 次の各問いに答えよ。

- (1) 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n(n+2)}$ の和を求めよ。
- (2) 行列 $A = \begin{pmatrix} 4 & -3 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$ に対して、 $A - kE$ が逆行列をもたないように定数 k の値を求めよ。ただし、 E は単位行列を表すものとする。